

あおぞら



NPO 法人 あいかわ工房
 広報 VOL. 2018.01.01
 編集 あいかわ工房編集委員会
 発行責任者 熊谷直丈
 ホームページ あいかわ工房 [検索](#)
 TEL 046-281-1157



明けまして

おめでとうございます

今年も皆様にとって良い年で

ありますよう心より

お祈り申し上げます



利用者の皆さんが毎日元気に、目標を持って通所して頂き、お仕事を供給して下さる企業の皆様、関係機関の皆様の支援のもと、無事に一年を過ごすことが出来ました。

自然災害・人的災害の多い昨今ですが、今年も『安全』を最優先に、職員一同業務に邁進して参りますので、皆様のご支援、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 あいかわ工房

所長 熊谷直丈

職員一同

☆西伊豆 雲見海岸から 朝焼けの富士山

年頭のご挨拶

理事長 瀧 亀久男

明けまして

おめでとうございます

念頭にあたりみなみな様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。昨年を振り返ると国際的には、アメリカ大統領と北朝鮮、国内では安倍総理大臣と小池都知事に振り回された一年ではなかったかと思えます。一昨年起こった県立津久井やまゆり園の事件の始末も漸く解決をみて『ともに生きる社会』の実現に向けて一歩踏み出すことが出来ました大変喜ばしいことです。

私たちがあいかわ工房は昨年六月に十一回目の総会を開催いたしました。利用者の皆さんがあいかわ工房に通所して良かったと実感できるようなきめ細かく改善を重ねて行きたいと考えております。あいかわ工房に関わりのある全員が一つの方向に向かって日々努力することが重要ではないかと考えております。今年も今年です。勤勉で努力家という意味合いがあるようです。あいかわ工房の発展を願い一歩一歩進むとともにお互いに健康に留意して有意義な一年となるよう努めましょう。

『ともに生きる社会かながわ憲章』

- 一 私たちは、あたたかい心をもって、
すべての人のいのちを大切にします
- 一 私たちは、誰もがその人らしく
暮らすことのできる地域社会を実現します
- 一 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁
いかなる偏見や差別も排除します
- 一 私たちは、この憲章の実現に向けて
県民総ぐるみで取り組みます



小林さんが表彰されました
10月28日の愛川町社会福祉大会で、福祉功労者として表彰を受けました。地域作業所時代から、NPO法人あいかわ工房へ移行した時に入社して貰いました。地域作業所の頃の習慣が根強く、現在の形にするための変革に大いに貢献をして頂きました。
昨年は武藤さん、その前は佐須さんが表彰を受けています。

新しい施設外就労を
立ち上げています

都市環境サービス(株)様にはずっと施設外就労でお世話になっていますが、10月から(株)アクティブ様にもお世話になっていきます。現在3〜4名で週に3日ほど、小林係長が軌道に乗るまで担当しています。

受 援 力

所 長 熊谷直丈

昨年から毎月一回午後から『みんなの時間』を設定しました。

これは、障がいのある方、無い方に拘わらず、初対面の人やなかなか話し掛けにくい人など、夫々ににがて意識があります。特に言語に障がいのある方は殆どお話をする機会が無くなって、更に寡黙になってしまします。勿論それぞれ性格で、口数の少ない方もおられます。

しかし、もし災害が発生した時に自分の事、助けて貰いたい事、を言えなかつたらどうでしょう。

『いざとなれば何とかなるさ』で済むものではないと思います。

そこで、毎月第一金曜日の午後は、仕事をストップして、『みんなの時間』としています。

毎日の作業では皆さん私語は無く、真剣に作業に取り組みまれています。見学に来られた方はいつもビックリするほどに作業に集中されています。休憩時間も近くにいます。お話をする程度ですから、一般企業に変わらないほどの毎日をご過ごされています。

でも、一人暮らしの方やご家族と二人暮らしの方も多数通所されているので、家に帰られてからも会話の少ない環境ではないかと思えます。

ですから、この『みんなの時間』は大いにお喋りをして貰おうという趣旨なのです。はじめは何を話してよいか判らなくても、回を重ねるうちに皆さんが少しずつお話をされるようになって来ました。



『みんなの時間』楽しいお話や
防災カルタでの勉強



毎日、皆さんと接している我々職員には、余り大きな変化を感じていませんでしたが、毎年春と秋の二回看護師さんに来て頂いて、健康相談をお願いしています。秋に来て頂いて、皆さんの相談に応じて頂き会話を交わす中で、今まで殆ど話というか返事も十分にしなかった方が、自分の事を喋られるようになって驚かれました。総じて多くの方が話を良くされるようになったと言われて、これは『みんなの時間』の効果が出たものと、職員一同感激しました。
これからも、継続していざという時だけでなく、常日頃のご近所との会話を大切にして、良いお付き合いをすることをお勧めして行きます。

『遠くの親戚より、近くの他人』常日頃のお付き合いが緊急時にも役に立ちます。『自分の事を発信する力』そして支援して頂くための『受援力』をしつかりと身に着けて頂こうと思っております。



防災センターでは、緊急の電話対応訓練や地震の体験・消火器の取り扱い訓練などを行いました。



防災訓練



所内では、地震を想定したり、火災を想定しての避難訓練をしています。ふだんから『自分の身は自分で守る』を合言葉にヘルメットの着用や作業台の下などに入り、身を守る訓練をしています。一年に一回は非常食を食べ、補充をしています。最近の非常食はとても美味しく、簡単調理で出来ます。



10月25日に県の福祉バスの申込が当たりました。予定は沼津の近くの淡島にあるあわしまマリパークでしたが、数日前の台風で開園が出来なくなってしまい、当日も雨模様でした。

雨天の時のプランとして、新東名高速道路から東名高速道路をぐるりと回るコースで、途中のサービスエリアを巡るコースに致しました。

足柄サービスエリアでは、足湯に入る人もいました。どのサービスエリアでも名物や地元の品々が並んで、皆さんも興味深く見て、ご家族へのお土産の品定めをして帰りは沢山のお土産を抱えていました。

バスの中では恒例のビンゴゲームやディズニーの映画をみて楽しい一日を過ごすことが出来ました。





7月生まれ



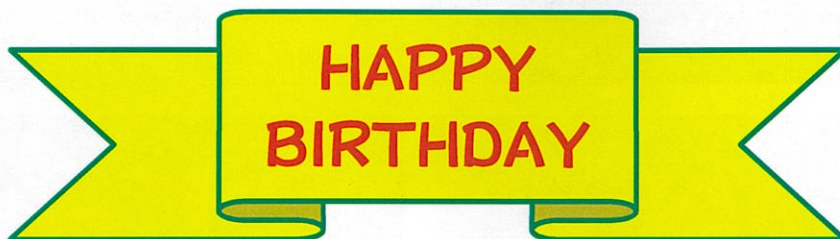
7月生まれ



7月生まれ



7月生まれ



8月生まれ



8月生まれ



9月生まれ



9月生まれ



9月生まれ



11月生まれ



12月生まれ



12月生まれ

自分の身は

自分で守る

一年間皆さんに言い続けて来ました。同時に隣所の方たちとコミュニケーションをとって下さい。自分の障がいを多くの人に理解して貰って下さい。そのためには自分から話を出る様になって下さい。それが皆さんを守ることになります。こんな形でこれから『みんなの時間』を有効に活用したいと思っています。

殆ど話をしなかった方が、笑顔で自分の事を話してくれた時、遠くの病院へのバスや電車の乗り換えを紙に書いて送り出したら、しっかりと受診して、報告をしてくれた時、大きな喜びを貰いました。

今年も職員一同頑張つて参りますので宜しくお願い致します。

職員一同